

○小林委員 私からは、都営地下鉄における五つのテーマについて質問をさせていただきます。

まず、都営地下鉄のマナー啓発について伺いをいたします。

交通機関においては、不特定多数の乗客が入り乱れ、日常的にさまざまなトラブルも散見されますが、トラブルを未然に防ぐとともに、乗客が快適に利用していくためにも、公共交通機関としてマナーの啓発活動は重要な取り組みの一つであると考えます。

私は、昨年の第四回定例会の一般質問で、エスカレーターの利用におけるマナーについて質疑をいたしました。都内のエスカレーターでは、右側をあけて乗るという暗黙の慣習が存在し、左側は整然と立ちどまって乗る人がいる一方、右側は急ぎ足でエスカレーターを昇降する光景が日常的になっており、障害のある方や年配者などに配慮して、エスカレーターの利用に当たって左右関係なく乗ることができるよう、マナー啓発に取り組んでいく必要性を指摘させていただきました。

当時の山手交通局長より、指摘された視点も踏まえて、マナー啓発に取り組んでいくとの答弁をいただきましたが、そうした視点を踏まえて、このような啓発ポスターを作成していただきました。もう既にご存じの方も多いかと思いますけれども、エスカレーターは手すりにつかまらしようということで、桃太郎が鬼ヶ島に行くというストーリーの中でのイラストで表現をされておりますけれども、ここに左手をけがされている方が、左手では手すりにつかまれないので右手でつかまっている、また、左手でお子さんをだっこしているお母さんが右手で手すりにつかまっている、このような形の、まさに私が指摘をさせていただいたようなことを一つ視点として踏まえていただいて、こうしたポスターの作成をいただきました。大変にありがとうございました。

そこで、改めて、都営地下鉄で、これまでのマナー啓発の取り組みについて確認をさせていただきます。

○根木総務部長 都営地下鉄では、エスカレーターの安全利用を初め、駆け込み乗車や歩きスマホの防止、優先席の譲り合いなどのマナー啓発につきまして、ポスターや動画を制作するとともに、車内や駅の構内放送、車内の液晶モニターなどを活用し、広く呼びかけております。

特にポスターの制作に当たりましては、お客様の印象に残るよう、コミカルなイラストやキャッチフレーズを用いるなど工夫を凝らしたデザインとしております。

○小林委員 ありがとうございます。

今、ラグビーワールドカップが開催されている中、多くの外国人観光客も来日をされております。私は、よく大江戸線を利用していますが、本当に外国人観光客の方が多くなったなど実感をいたしております。

明年には東京二〇二〇大会を控え、さらなる外国人観光客の激増が予想される中、公共交通機関におけるマナー啓発は、日本人のみならず外国人観光客に対しても重要な取り組みであり、推進していくべきと考えますが、見解をお伺いいたします。

○根木総務部長 優先席の利用方法などのインバウンド向けのマナー啓発につきましては、駅の構内放送やポスターを活用し、日本語のほか、英語、中国語及び韓国語を用いて行っております。

加えて、今後は、外国人旅行者にお伝えしたいマナーなどについて、都営交通モニターからご意見を伺い、マナー啓発の参考にしてまいります。

引き続き、東京二〇二〇大会に東京を訪れる外国人旅行者も含め、誰もが都営地下鉄を快適にご利用いただけるよう、お客様へのマナー啓発に取り組んでまいります。

○**小林委員** 今ご答弁もありましたとおり、インバウンド向けに新たな取り組みも検討されているということでございますので、ぜひとも推進をお願いしたいと思います。

また、先ほどのご答弁の中でも、コミカルなイラストやキャッチフレーズを用いたとありましたが、先日、インターネットのニュースで、駅のマナーポスターがおもしろくなったわけ、というタイトルの記事が目にとまりました。その記事はこのような書き出しで始まっております。

近ごろ、駅や電車内に掲出されているマナーポスターに目を引くものが多くなった、漫画調やコメディータッチなど遊び心あふれる作品が並び、思わずくすりとさせられる、特徴的なのは、民営各社だけでなく、おかたいイメージがある公営企業、東京都交通局のポスターにも変化が見られることだ、世界の名画をコミカルにアレンジしたものなどが登場し、利用者の目を引きつけている、一昔前まで清く正しい標語ありきだった鉄道会社のマナーポスターは、いつからおもしろくなったのか、東京都交通局の担当者に、制作秘話や記憶に残るポスターづくりの極意について話を聞いた。

このような書き出しで、詳細な取り組みの内容が記事になっておりました。

今やマスコミも注目する交通局のマナー啓発ですので、ぜひとも今後とも知恵を絞っていただき、注目され、かつ効果的にマナー啓発に結びつくよう取り組みをお願いしたいと思います。

次に、都営無料 Wi-Fi についてお伺いいたします。

都では、経営計画二〇一六において、地下鉄車内の無料 Wi-Fi 環境の整備を東京二〇二〇大会までに全車両に整備を完了するとの目標を掲げております。

一昨年の当分科会においても、地下鉄車内の無料 Wi-Fi の整備の進捗状況について質問いたしましたが、改めて、現在の進捗についてお伺いいたします。

○**広瀬資産運用部長** 訪日外国人を初めといたします利用者の利便性向上のため導入を進めてまいりました都営地下鉄車内の無料 Wi-Fi につきましては、平成二十九年まで浅草線、大江戸線、その後、平成三十年には三田線、本年七月には新宿線への設置を終えまして、交通局が保有いたします全編成への整備が完了したところでございます。

○**小林委員** 一昨年の質疑の際の答弁では、三田線、新宿線については、二〇二〇年東京大会の開催前の平成三十二年三月までに導入することでしたが、予定より早く整備ができたということで、迅速な対応であったと思います。

私も都営地下鉄をよく利用しますが、車両内では本当に多くの乗客の方々がスマートフォンを利用しております。

そこで、全編成に設置が完了したこの Wi-Fi は、どのくらいのお客様が利用できる状況になっているのかお伺いいたします。

○**広瀬資産運用部長** 都営地下鉄におけます無料 Wi-Fi、都営地下鉄フリーWi-Fi におきましては、サービスを提供している通信事業者によりまして、一編成当たり五百名程度の方が接続できると聞いております。

○**小林委員** ありがとうございます。全車両に Wi-Fi 環境が整備されたということは、大変に誇るべきことだと思いますので、今後も乗客の利用状況や声をお聞きしながら、快適な通信環境を維持していけるよう取り組みをお願いしたいと思います。

次に、バリアフリールートの充実についてお伺いいたします。

経営計画二〇一六の中では、乗りかえ駅などでのエレベーター整備を進めていく方針が示され

ていますが、乗りかえ駅などでのエレベーター整備について、平成三十年度の実績と現在の進捗状況をお伺いいたします。

○谷本建設工務部長 交通局では、経営計画に基づきまして、東京メトロなど他の事業者とも連携を図りながら、乗りかえ駅等でのエレベーター整備を進めており、平成三十年度は六駅で供用を開始いたしました。

具体的には、浅草線人形町駅での東京メトロ日比谷線との乗りかえ経路へのエレベーター整備や、新宿線神保町駅、一之江駅でのエレベーター新設に加え、大江戸線大門駅など三駅で駅周辺の再開発事業者との連携を図り、再開発ビル内でのエレベーターを活用し、新たなバリアフリールートを確認いたしました。

今年度は、新宿線九段下駅や大江戸線青山一丁目駅など、再開発ビルとの接続も含めまして、八駅でエレベーター増設等の工事を進めております。

○小林委員 本年一月に発表されました経営計画二〇一九では、さらなる利便性の向上を図るため、バリアフリールートの複数化について検討を進めるとされていますが、今後の検討の方向性について確認をいたします。

○谷本建設工務部長 交通局では、昨年改正されたバリアフリー法による移動等円滑化基準などを踏まえまして、バリアフリールートの複数化について検討しております。

平成三十年度は、駅の利用実態に加えて、駅周辺における病院、高齢者、障害者施設の立地などを調査しており、これを踏まえまして、現在は、移動距離を最短化する観点より、バリアフリールートの複数化の可能性を検討しております。

今後は、これらに加えて、駅施設の構造や用地確保の可能性などを勘案しながら、整備優先度の検討を進めてまいります。

○小林委員 私の地元練馬区の大江戸線光が丘駅は、現在エレベーターが一基しかなく、増設を要望する声を多数いただいております。こうしたことから、平成二十九年第一回定例会の予算特別委員会、そして、平成三十年の第四回定例会の一般質問でも増設に向けた質問をさせていただきましたが、関係機関と連携し、用地の確保や構造上の課題に関する検討を深め、バリアフリールートの充実に取り組んでいくとのご答弁をいただいておりますので、ぜひとも迅速に検討を進めていっていただきたいと思います。

次に、トイレのバリアフリー化についてお伺いいたします。

都議会公明党は、トイレのバリアフリー化については、都営地下鉄駅のみならず、学校、都立公園など徹底して推進し、取り組んでまいりました。

来年の東京二〇二〇大会の開催に向け、都営地下鉄駅のトイレについても、外国人や高齢者も使いやすいように、トイレの洋式化を一層進めていく必要があります。

そこでまず、平成三十年度のトイレの洋式化の実績についてお伺いいたします。

○坂口技術管理担当部長 都営地下鉄では、トイレの洋式化を計画的に進めており、平成三十年度は十九駅、二十二カ所で洋式化を実施いたしました。

このうち、大江戸線については、東京二〇二〇大会までに環状部の全駅で洋式化を完了させることとしており、国立競技場駅、六本木駅、上野御徒町駅など十五駅、十八カ所で整備を行っております。

その他、三田線神保町駅や春日駅など三駅三カ所では、洋式トイレの整備に合わせ、出入り口の段差解消、手すりやベビーチェアの設置を行うとともに、三田線西台駅については、トイレの故障に伴う緊急工事に合わせ、トイレの洋式化を行っております。

○**小林委員** 経営計画二〇一九には、都営地下鉄のトイレの洋式化について、二〇二〇年度までに約九割、二〇二一年度までに整備完了との目標が示されております。

トイレの洋式化に向けた現状と今後の見通しについてお伺いいたします。

○**坂口技術管理担当部長** トイレの洋式化について、昨年度末までに、対象百十一カ所のうち七十八カ所で整備を完了し、整備率は約七〇％になっております。

また、今年度は、本年九月末までの半年間で、大江戸線青山一丁目駅など三駅四カ所でトイレを洋式化しており、累計八十二カ所、整備率は約七四％となっております。

現在、三田線新高島平駅、西高島平駅などで工事を進めており、引き続き、目標の達成に向けて計画的に取り組んでまいります。

○**小林委員** ありがとうございます。トイレの洋式化の取り組みは、大変に重要な取り組みであると認識しておりますので、ぜひとも目標の達成に向けた計画的な取り組み、着実に推進をしていただきたいと思います。

最後に、地下鉄構造物の長寿命化についてお伺いをいたします。

構造物の長寿命化については、建設局が、橋梁、橋について損傷や劣化が進行する前に必要な対策を行う長寿命化という施策に積極的に取り組んでおりますが、地下鉄構造物の長寿命化とはどのような取り組みなのかを確認させていただきます。

○**谷本建設工務部長** 地下鉄構造物の長寿命化とは、経過年数の長いトンネルにつきまして、著しい劣化が発生する前に機能回復を図る予防保全型の管理手法を導入することで、延命化を図る取り組みでございます。

具体的には、トンネルの健全度を調査した上で、ひび割れ等からの漏水を遮断し、鉄筋コンクリートの劣化を防ぐ漏水対策や、将来、トンネルの劣化が進行した際に剥落の可能性がある劣化部を未然に除去し、修復する剥落対策などを実施するものでございます。

○**小林委員** それでは、この地下鉄構造物の長寿命化は、これまでどのような場所で取り組みをされてきたのかお伺いいたします。

○**谷本建設工務部長** 地下鉄構造物の長寿命化につきましては、開業年度の古い浅草線、三田線におきまして、全区間を対象に計画的に実施しており、平成二十三年度から順次工事を進めております。

平成三十年度は、浅草線では西馬込駅から五反田駅間、三田線では春日駅から西巢鴨駅間、日比谷駅から御成門駅間におきまして工事を実施いたしました。

○**小林委員** 開業年度は、浅草線が一九六〇年、三田線が一九六八年で、いずれも五十年以上の歴史を刻んでおります。

新宿線は一九七八年、大江戸線は一九九一年が開業年度でございますけれども、さきの二線よりは歴史は浅いですが、この二線についても、浅草線、三田線と同様な考え方で、この長寿命化

に取り組んでいく必要があると考えますが、見解をお伺いいたします。

○谷本建設工務部長 ご指摘のように、開業が浅草線、三田線より新しい新宿線、大江戸線におきましても、将来的には長寿命化対策が必要になるものと考えております。

現在、新宿線、大江戸線につきましては、法令に基づき、二十年に一度のトンネル特別全般検査を実施しているところございまして、今後、本検査の結果も踏まえ、長寿命化について検討してまいります。

○小林委員 長寿命化の取り組みは、地味な取り組みかもしれませんが、安全性の確保や小まめな修繕による大規模修繕と比べたトータルコストの縮減など重要な取り組みでありますので、着実に推進をお願いしたいと思います。

最後に一点、要望させていただきたいと思います。

東京都交通局では、かつてスマートフォン向けのアプリを作成し、提供されてきました。その当時、まだ行政がアプリを活用した情報提供の事例が少ない中で、先駆的な取り組みだなと関心を持っておりましたが、いつの間にかなくなってしまったという現状がございました。

私は、一昨年の当分科会の質疑の中で、この東京都交通局が作成したアプリ、ぜひともリニューアルか、新しい形で復活していただくよう検討の要望をいたしました。この一月に発表された経営計画二〇一九では、都営交通公式アプリの導入、二〇一九年度サービス開始と記載をされておりました。

過日、開発状況を交通局にお伺いしたところ、開発委託契約の入札が実施され、今、開発が進められているとのことでありました。大変に喜ばしい取り組みであると思いますので、計画どおり年度内のサービス開始を確実に実施され、都民の皆様方の利便性の向上に資するアプリ開発を進めていただきますよう要望いたしまして、質問を終わります。ありがとうございました。